生活交通の維持・確保に関する方策について

千葉県バス対策地域協議会千葉分科会

乗合バス事業については、平成14年2月の改正道路運送法の施行に伴い、需給調整規制は廃止され、事業への参入・退出等の規制が緩和されました。

これにより、交通需要の少ない地方部における乗合バス路線については、不採算路線からの退出の加速が懸念され、地域住民の皆様にとって真に必要な生活交通の確保に支障を来たすことが危惧されています。

このため千葉県では、「千葉県バス対策地域協議会」を設け、さらに各地域に「分科会」を設けて地域の

ニーズに応じた具体的な生活交通確保のための方策を協議することとしています。

このたび千葉分科会では、乗合バスを運行するバス事業者から今後の運行について協議の申出のあった 路線について、別添のとおり協議しましたので、その結果を公表します。

令和6年6月4日

千葉県バス対策地域協議会千葉分科会

(事務局:千葉県総合企画部交通計画課内)

電話:043(223)2063

千葉県バス対策地域協議会第1回分科会協議結果総括表

<u>分科会名:千葉分科会</u> 協議年月日:令和6年3月27日

	協	議路線		関 係			
事業者名	路線名	起 点 · 終 点 (経 由 地)	協議申出内容(実施予定年月日)	市町村	分科会における協議結果	備考	
小湊鉄道 株式会社	塩田喜多線	塩田営業所・喜多 (浜野駅東口)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和6年10月1日)	千葉 市市原市	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を 受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和6年10月1日~令和7年9月30日)		
京成バス 株式会社	北部循環線	草野車庫・いきいき プラザ(八千代台駅)	国補助を受けて 運行を維持する。 (令和6年10月1日)	千葉 市八千代市	生活路線として必要であり、申出どおり国の補助を受けて 運行を維持する。 (補助対象期間:令和6年10月1日~令和7年9月30日)		
茨城急行自動車 株式会社	岩井線	野田市駅・岩井車庫 (下町) 国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和6年10月1日)		野田市	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和6年10月1日~令和7年9月30日)		
千葉中央バス 株式会社 おまご線		千城台駅・千城台駅 (沖十文字バス 乗換場、 農政センター)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和6年10月1日)	千葉 市八街 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(千葉市)の補助を受けて運行を維持する. (補助対象期間:令和6年10月1日~令和7年9月30日)		

令和7年度地域間幹線系統確保維持計画

N	事業者名	系統名	起点・終点	1 月份,以重州	2. 定量的な	3. 目標を達成するために行う	事業(生産性向上σ)取組を含む)
о.	事来有名 	永 柳石	(主な経由地)	1. 目的・必要性 	目標・効果	取組内容	実施時期	実施主体
	小湊鉄道㈱	塩田喜多線	塩田営業所・喜多(浜野駅東口)	・鉄道駅(ちはら台駅・ 浜野駅)に接続している交通手段であり、沿線住民の通動通学等に必要である。 ・市原市から生浜高校への通学、及盟区の湿津小・中での通学に必要である。	令和6年度と比較し て収支率1%以上改善	・一部重複する関係系統等を含めた 運行計画を見直し、収支改善に努める。 ・千葉市内に転入してきた方や市内 の区をまたいで引っ越しされた方 を対象に配布する「公共交通利用促進リーフレット」に「鉄道・モノレ ール・バス路線図」のQRコード掲載し、利用促進を図る。 ・市ホームページに路線バスに関する情報(時刻表等)を掲載し、公共交通の利用促進を図る。 ・路線バスを利用する利点や、交通 事業者が実施している高齢者への助成制度について、ホームページ、 市広報紙等へ掲載することにより、 バスの利用促進を図る。	令和 6 年 10 月以降 実施 令和 6 年 10 月以降 実施 令和 6 年 10 月以降 実施	千葉市

N	事業者名	系統名	起点・終点	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果・	3. 目標を達成するために行う事業(生産性向上の取組を含む)			
О.		不测石	(主な経由地)	1. 自的"必安性		取組内容	実施時期	実施主体	
	京成バス株式会社	北部循環線	草野車庫・いきい きプラザ (八千代台駅)	線の確保。 ・地域における主要駅で ある八千代台駅、京成大	令和 6 年度と比較して収支 率 1 %以上改善	・沿線にある集客施設の案内 と時刻表を記載したルート マップを作成し自治会内で 配布することで、地域の魅力 とバスの利便性をPRする。 地元自治会、関係市、京成バ ス㈱からなる三者協議会を	令和7年1月以降 実施 令和6年10月以降 実施	京成バス㈱、千葉市、八千代市、地	
				和田駅への交通手段。 ・千葉市への通勤通学の ための交通手段。		開催し、利用促進や課題点等 について協議する。		元自治会	
				・公共施設「いきいきプラザ」等を利用される高		千葉市内に転入してきた方 や市内の区をまたいで引っ 越しされた方を対象に配布 する「公共交通利用促進リー フレット」に「鉄道・モノレ	令和6年10月以降 実施	千葉市	
				齢者、子供への交通手 段。		ール・バス路線図」の QR コードを掲載し、利用促進を図る。			
						市のホームページに路線バスに関する情報を掲載する等,公共交通の利用促進を図る。	令和6年10月以降 実施	千葉市、八千代市	

N	事業者名	系統名	起点・終点		2. 定量的な目	3. 目標を達成するために行う事業	と (生産性向上の耳	対組を含む)
о.	事 来有名		(主な経由地)	1. 目的・必要性	標・効果	取組内容	実施時期	実施主体
0.	茨城急行自動車株式会社	岩井線	野田市駅・岩井車庫(下町)	・通勤、通学者の最寄 り駅(愛宕駅)まで の交通手段 ・買い物等(プライス 野田店、の交通手の病院(キッノ 店線の病院(キッノ ・沿線の総合病院)等へ ・張総手段	標・効果 令和6年度と比較し て収支率1%以上改善	(将来的な通勤利用者の確保) 共通学生フリーパスをホームページ及び車 内掲示案内することでの販売促進 (利用促進用バス時刻表の配布) バス利用方法及び案内等を入れた時刻表を 車内、沿線施設へ配布。 (校外学習) 学校訪問等による営業活動を行い、校外学習による利用を促進する。 (バスの乗り方教室) 市等が開催するイベントに参画し、バスの 乗り方教室を実施する。 野田市のコミュニティバスの運行ルートの 設定に際し、利用者が競合しないよう調整を図る。 野田市コミュニティバスのルート図・時刻	令和 7 年 4 月 令和 6 年 10 月以降実施	実施王体 茨城急行自動車 茨城急社 茨城会社 茨城会社 茨城会社 茨城会社 野田市 野田市
							令和 6 年 10 月以 降実施	野田市

N	市光之力	ゴ ケナ ロ	起点・終点		2. 定量的な	3. 目標を達成するために行う	事業(生産性向上の	の取組を含む)
о.	事業者名	系統名	(主な経由地)	1.目的・必要性	目標・効果	取組内容	実施時期	実施主体
	千葉中央バ ス㈱	おまご線	千城台駅・千城台駅 (沖十文字バス乗換 場、農政センター)	・地域住民の通勤通学 などに必要であり、生 活上重要な路線 ・モノレール千城台駅	令和6年度と比較して 収支率1%以上改善	・ご高齢の方や通信環境を持たない方の為に、バス車内で時刻表を配布できるよう対応。	令和6年10月以降 実施	千葉中央バス㈱
				への交通手段及びモノ レール利用を推進する ために必要 ・八街市在住者の通学		・地元自治会、千葉市、千葉中央 バスからなる運行協議会へ新たに 地域の観光事業者を参画させ、利 用促進等について検討すること で、地域住民に加え、観光客等の	令和6年10月以降 実施	千葉中央バス ㈱、千葉市、地 元自治会、観光 事業者
				需要拡大及び利便性の向上のために必要		需要創出に取り組む。 ・千葉都市モノレール及び八街市コミュニティバスとの連携(経由地で乗継可)について協議し、パンフレットの配布場所拡大等利用	令和6年10月以降 実施	千葉市 八街市
						改善を図る。 ・バス運行情報のオープンデータ 化により、Google での経路検索に 対応させ、利用者の利便性向上を 図る。	令和6年10月以降 実施	千葉市
						・千葉市内に転入してきた方や市内の区をまたいで引っ越しされた方を対象に配布する「公共交通利用促進リーフレット」に「鉄道・モノレール・バス路線図」のQRコードやおまご沿線の観光スポットを掲載し、利用促進を図る。	令和 6 年 10 月以降 実施	千葉市
						・モバイルチケットを導入し、利 用者の利便性向上を図る。	令和6年10月以降 実施	千葉中央バス(株) 千葉市 地元自治会
						・おまご線についても記載している八街市公共交通マップを活用し、市HP等で情報発信して利用 促進を図る	令和6年10月 以降実施	八街市